



2021 年 5 月 10 日

リモートでの金融コンサルティングサービス提供に向けた 合弁会社設立の検討開始について

～千葉銀行・第四北越銀行・中国銀行・野村ホールディングス株式会社による 4 者間合意～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、「TSUBASAアライアンス」※で連携する第四北越銀行（頭取 殖栗 道郎）、中国銀行（頭取 加藤 貞則）、および野村ホールディングス株式会社（代表執行役社長 グループCEO 奥田 健太郎、以下「野村ホールディングス」）の 4 者間で、リモートでの金融コンサルティングサービス提供に向けた合弁会社（以下「本合弁会社」）設立の検討を開始しました。

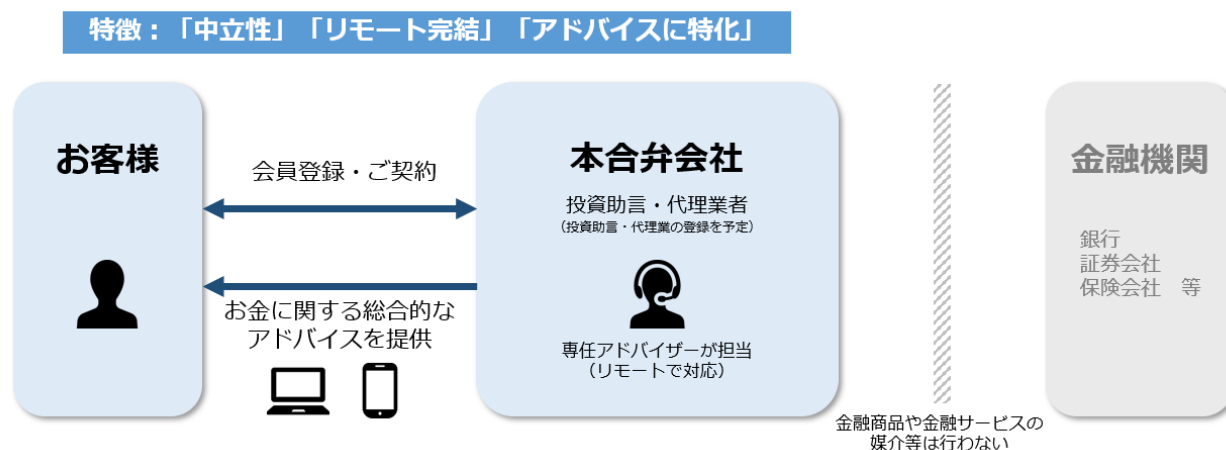
4 者は、検討にあたっての基本方針、その他必要事項を取り決めた基本合意書を締結しており、今後、設立効果の検証や運営体制などの詳細を詰めたうえで、2021 年度第 2 四半期を目途に最終契約を締結し、準備会社を設立する予定です。

近年、人口減少や高齢化の進展により社会保障制度の見直しが進む一方、人生 100 年時代への備えとして自助努力による資産形成への関心が高まっています。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、働き方や生活スタイルが変化し、デジタルチャネルをつうじたリモートでの面談や取引が広がっています。

こうしたなか、4 者は銀行事業と証券事業に関するノウハウを組み合わせ、業態を超えた総合的な金融コンサルティングサービスを提供する本合弁会社の設立を目指します。

本合弁会社では、特定の金融機関に属さない中立性、専任アドバイザーによるリモート相談、アドバイスに特化した有料でのコンサルティングという特色を活かし、お客さまの身近なアドバイザーとして、長期の資産形成・資産管理をサポートしてまいります。なお、金融商品仲介業者とは異なり、金融商品や金融サービスの媒介等は行わない予定です。

【サービス提供のイメージ図】



【本合併会社の概要】

商 号	未定
所 在 地	未定
代 表 者	未定（野村ホールディングスから1名を選定予定）
事業内容（予定）	リモートでの金融コンサルティングサービスの提供等
資 本 金	未定
設 立 時 期	2021 年度第 2 四半期を目途に準備会社を設立予定
出 資 比 率	野村ホールディングスが過半数を取得する予定であり、今後の協議を経て最終的に決定します。

【基本合意した4者の概要】

商 号	株式会社千葉銀行	株式会社 第四北越銀行	株式会社中国銀行	野村ホールディングス 株式会社
本 店 所 在 地	千葉県千葉市 中央区千葉港 1-2	新潟県新潟市 中央区東堀前通 七番町 1071-1	岡山県岡山市北区 丸の内 1-15-20	東京都中央区 日本橋 1-13-1
代 表 者	佐久間 英利	殖栗 道郎	加藤 貞則	奥田 健太郎
事業内容	銀行業	銀行業	銀行業	持株会社
資 本 金	1,450 億円	327 億円	151 億円	5,944 億円

※千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上